



## 生徒会活動関連の機械可読形式書類の 保存に関する提案(改訂版)

**現状** : 生徒会活動に関する(物理的)書類は現在委員会(役職)毎にファイルに綴じ、保管している。

**問題** : 近年、電子計算機等によって作成された書類が生徒会においても増加してきている。それらの多くは、部分的な修正を経て次年度以降も使用されるものである。しかしながら、それらが機械可読の状態のまま次期以降に引き継がれる事は少なく、無駄な作業を繰り返す事となる。

**解決策** : 期毎に機械可読書類を CD-ROM に纏める。

**発展** : その期の活動内容や反省などを含め、希望者に配布する事により、思い出の一部とすることができる。また、次期以降の参考ともなる。現在地層のように積み重ねられてゆく過去の書類の整理が問題となっているが、機械可読形式の書類は小さなサイズで非常に高密度な情報を記憶する事ができ、問題の解決になる。ただし現状では生徒会室の電子計算機環境が十分ではないため、コンピューター室への余分な手間が必要になる。早期の整備を望みたい。

**備考** : 機械可読形式書類の保存への試みは、既に何度か行われている。例えば、本年度の生徒会入会式時のプレゼンテーション用書類等は CD-ROM に纏め、一部の関係者に配布されている。また、平成 11 年度前期までの生徒会などの活動の機械可読書類を纏めた CD-ROM が現在製造工程にある。

**提案** : 機械可読形式書類の保存によってより活発な生徒会活動が期待できる。また、CD-ROM 作成も既に非公式ながら行われ、容易に実現可能であることは判明している。

今後正式に生徒会として期の終わりに CD-ROM を作成し、次の代へとつなげていくことを強く望みたい。

**付記** : 「備考」の項で述べた制作中の CD-ROM は希望者に実費で配布されるほか、平成 11 年度前期の書類と共に生徒会室にて保管してもらう予定である。





## 過去の生徒会の書類の 電子化保存の提案(改訂版)

現在生徒会の活動で作成された書類はファイルに保存しているが、場所を取るため、古いものは捨てざるを得ない。しかしながら、過去の資料は大変参考になり、例えばこの活動は一体いつ始まったのだろうか?と調べる時<sup>1</sup>などもある。

ところで、最近の電子計算機の発展は目まぐるしく、今や大量の情報の処理が瞬時で可能になった。にもかかわらず、その情報は非常に小さく纏める事ができ、積みり行く書類の整理にはもってこいである。

そこで、古くなった生徒会書類の電子化保存をここに提案したい。その手順を、図に示す。

### 図 物理的書類の機械可読書類化の手順

**註** PDF形式は、Adobe社が開発した電子書類形式で、Adobe Acrobat 4.0を使用して作成する。非常に簡単に出力できるが、高度な機能をも備える。WindowsやMacintosh、或いは言語など

scanner  
読取機により書類を読み取る。

読み取ったデータをPDF形式にする。

書類を整理して、CD-ROMを焼く。

の環境を問わず利用できるのが特徴で、ISO(国際標準化機構)などの国際機関などでも使用されている信頼ある形式である。Adobe Acrobat Readerという無償配布されているプログラムで誰でも読む事ができ、インターネット各地を始めとする世界各地で利用されている。

2. 現存する過去の書類を全て電子化するには、多大な手間がかかる。しかしその後の運用による効果を見込めば、微々たる物である。また、一度電子化した後は少しずつの追加ですむので、それ程の手間はかからない。

<sup>1</sup> 例えば本年度のGood Friends運動の際は、そのルーツを探るため、人海戦術で過去のファイルを探しまくったが、核となる部分は既に廃棄されていた。

電子化され、検索インデックスを作成すれば、「Good Friends運動」などと検索すれば関連する情報を一覧する事が可能であり、無駄な手間が省ける。

